

5月26日(木) 令和4年春季講演会 タイムテーブル (2022/5/23、最終版)

26日	第1会場 Room 1	第2会場 Room 2	第3会場 Room 3	第4会場 Room 4	第5会場 Room 5	
9:00						
10:00	<p>OS1 船体・船殻強度、疲労、靱性、接合強度、溶接 Corrosion, Fatigue strength, and Welding 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>モデル化誤差データ同化による等価波高頻度分布に基づく疲労被覆度推定手法の検討 武内宗規, 井上拓海, 大沢直樹</p> <p>船体調査モデルのBayes推定に関する一考察 森相聖俊, 大沢直樹, 武内宗規</p>	<p>GS2 推進性能 I Propulsion performance I 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>自由航走試験と理論計算によるCFRPプロペラ搭載船の波浪中推進性能評価に関する研究 北川崇士, Bondarenko Oleksiy, 塚田吉昭, 福田 龍吾, 澤池伸宏, 藤本浩史</p> <p>CFRPプロペラ搭載船の波浪中燃料消費性能の評価に関する基礎的研究 北川崇士, Bondarenko Oleksiy, 塚田吉昭, 福田 龍吾, 澤池伸宏, 藤本浩史</p> <p>Energy Saving Effect of Bulbous Rudder with Fins Having Different Configurations in Waves Win Naing Htay, Yuji Tsuda, Seemontini RoyChoudhury, Yasuyuki Toda</p>				
11:00	<p>GS1 船体・船殻強度、疲労、靱性、接合強度、溶接 Corrosion, Fatigue strength, and Welding 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>変動荷重下におけるき裂先端近傍のひずみ計測に基づくき裂先端塑性域形成挙動の推定 早川銀河, 川村恭己, 岡田哲男, Dumarbange Eashan Gayantha Nandasiri 係留鎖の摩耗係数に関する実験的検討および3次元計測による解析的検討 武内宗規, 村上貴樹, 宇都宮智樹, 後藤浩二</p> <p>深層学習を用いた溶接ビード外観自動検査手法構築に向けた学習データの意大ささと窓移動量に関する検討 海邊純弘*, 山崎真入, 後藤浩二</p>	<p>GS2 推進性能 II Propulsion performance II 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>南海域での小型模型船の形状影響係数に関する実験 細田慎太郎, 〇坪嶋尚*</p> <p>波阻係数の相関関係の直接計測 勝井辰博, 吉岡秀晃, 高島公典, 川根孝生, 三重野 敏夫, 西尾茂</p> <p>RSMによる実船レイノルズ数でのCFD計算に関する考察 松田 謙史, 勝井 辰博, 木村 友優</p>	<p>OS2 海事産業における海上物流ビッグデータの活用 OS2 海事産業における海上物流ビッグデータの活用 オーガナイザー: 和田祐次郎 (広島大学), 柴崎隆一 (東京大学)</p> <p>船舶動静データの信頼性の総合的評価に関する研究 和田祐次郎, 鎌田祐実, 濱田邦裕, 五十嵐祐介, 渡邊大介, 船島隆博</p> <p>Probabilistic Approach for Risk Assessment of Near Miss Crossing Situation in Sunda Strait Fadilla Indrayuni Prastyasari*, Takeshi Shinoda</p> <p>AISデータに基づくバッキング・オペレーションの推計と国際比較 渡邊英介, 柴崎隆一</p> <p>船舶動静データと石油統計を用いた航行船舶からのGHG排出量の推計 渡部 大輔*, Thuta Kyaw Win, 船海 重喜</p> <p>衛星画像とAISデータに基づくコンテナターミナル混雑度の推計と分析 柴崎隆一, 安田広大</p>	<p>GS3 船体・船殻強度、疲労、靱性、接合強度、溶接 Corrosion, Fatigue strength, and Welding 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>大型コンテナ船の実船計測に基づくホイッピング抽出法の提案 古藤 恵太, 岡田 龍男, 川村 恭己, 早川 銀河</p> <p>ムーンプールを有するポンツーン型浮体の動揺低減効果に関する基礎的研究 藤島健英, 原野知樹, 相田康洋</p> <p>LSTMを用いた姿勢安定装置付きスロープの不規則波中動揺予測に関する検討 納豆瑞穂, 山本裕介, 森田万寿, 寺田大介, 片山徹</p> <p>多方向不規則波中の船体応答計測に基づく波浪及び非計測応答の時間領域推定 高見朋希, 陳曉, 小森山祐輔</p> <p>多発する水害に対する浮体式防災住居の提案(その1) -水櫃実験による浮上性能に関する基礎的検討 増田光弘*, 竹内隼太, 筒井千帆, 南清和</p>		
12:00	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	
26日	第1会場 Room 1	第2会場 Room 2	第3会場 Room 3	第4会場 Room 4	第5会場 Room 5	
13:00	<p>定時総会 13:00~14:00</p>					
14:00	<p>表彰式 14:00~14:30</p>					
15:00	<p>記念講演 14:40~15:40</p>					
16:00	<p>茶話会 15:40~16:20</p>					
17:00	<p>OS3 造船技術、文化の保存と活用 Preservation and application of technology and culture of ships オーガナイザー: 山口悟 (九州大学), 平山次清* (横浜国立大学), 内藤林 (大阪大学) Satoru Yamaguchi (Kyushu University), Tsugukiyo Hirayama (Yokohama National University), Shigeru Naito (Osaka University)</p> <p>海事遺産としての南極観測船余命の特性について 任司 邦昭</p> <p>舟才船の帆柱の立て起こし要領に関する考察 小嶋 良一*</p> <p>舟楫法-16, 7世紀の船型描画法について 〇平山次清*</p> <p>浅海域を対象とした高度遠望探査手法の検討 〇山口悟, 福田雄</p>	<p>GS4 推進性能 III Propulsion performance III 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>大型キャビテーション水櫃における初代青雲丸模型を対象とした伴流分布のスケール影響に関する数値的検討 新井淳*, 毛利隆之</p> <p>大船における船体F/Nの省エネ効果のCFDによる検証 石川 桃 穂 蓮</p> <p>浮氷群下流の氷片に作用する流体力の数値解析による調査および実験との比較 林諒汰*, 金野祥久</p> <p>フィン付船の舵抗低減効果に関する一考察 〇金丸宗, 吉武胡, 安東 潤</p> <p>CFDによる船外機付き滑走艇の流体力特性に関する研究 〇名波辰樹, 片山徹, 大関昌平, 曾我匡統, 渡辺敏夫</p>	<p>GS5 運動性能 I Motion and Performance I 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>流体力学的関係を考慮した運動方程式の同化 〇花木孝明, 高岡美那, 飯田理人, 真浦宗彦</p> <p>横流れを考慮した波浪定常流体力の実用計算法と波浪中操縦運動シミュレーションへの適用 梅尾 雅道, 〇柏木 正, 箕浦 宗彦, Decheng Wan</p> <p>操縦外乱が操縦不安定性に与える影響に関する考察 (第2報) 〇教 敦生, 星野健太, Leo Dostal, 丸山湧生, 羽根冬希, 芳村康男, 梅田直哉</p> <p>MCMC法を用いたMMGモデルの操縦流体力係数係数の同定に関する検討 〇栗林学樹*, 満行泰河, 宮脇達夫, 角田 研, 二木 峻 佑</p> <p>非線形時発展を考慮した波浪場における船体縦曲げ応答の数値計算 〇宝台英典, 松井貞典, 藤本航</p>	<p>GS6 船体・船殻強度、疲労、靱性、接合強度、溶接 Corrosion, Fatigue strength, and Welding 司会: 原 正雄 (大阪大学) 原正雄 (Osaka University)</p> <p>音響管を用いた船内騒音抑制のための音響シミュレーションに関する研究 〇田中太氏, 窪田岳志, 岡部直樹</p> <p>ウイルス感染症対策に向けた船内居住区の空調システムに関する研究 前田 淳宏, 陸田秀実, 金平 大河, 中島 卓司, 滑野子, 佐藤功一</p> <p>船舶用PLMシステムに関する基礎的検討 松尾宏平, 森下瑞生, 比翼謙太郎, 末岡雅樹, 谷口 馨之, 竹澤正仁</p> <p>船気吸着ユニットと空圧アクチュエータを用いた船体壁面歩行ロボット 木村 元, 〇松岡佐 哲仁, 浅沼 智幸</p>		
18:00					<p>若手の会 18:00~ (19:30)</p>	

: 講演者 (氏名の前の印)、* : オンライン参加 (氏名の後の印)、赤字 : 若手優秀講演賞審査対象

5月27日(金) 令和4年春季講演会 タイムテーブル (2022/5/23、最終版)

27日	第1会場 Room 1	第2会場 Room 2	第3会場 Room 3	第4会場 Room 4	第5会場 Room 5
6:00					
9:00	<p>OS1 自動着桟技術とその応用 Automatic Berthing オーガナイザー：牧 敦生 (大阪大学)、澤田涼平 (海上技術安全研究所) Atsuo MAKI (Osaka University), Ryohei SAWADA (National Maritime Research Institute)</p> <p>自動着桟性能評価のための不規則風外乱の高速計算アルゴリズムの開発 (第2報) ○牧 敦生, 丸山英生, Leo Dostal, 菅健児, 澤田涼平, 脇田康希, 湯井政史, 梅田直哉</p> <p>自動着桟制御に向けた静的影響物を考慮した追従制御の強化学習を用いた獲得手法について ○脇田康希*, 秋本洋平, Dimas M. Rachman, 天野希海, 笛木雄大, 牧敦生</p> <p>ベクティン船装輪船の運動指示制御のためのMIMOフィードバックコントロール ○藤山直*, 脇田康希, 秋本洋平, 青木佑介, 牧敦生</p>	<p>OS6 自動着桟に関する技術・評価・実証 Autonomous Ships Technology, Assessment and Validation オーガナイザー：橋本博公 (大阪公立大学) Hirotada Hashimoto (Osaka Metropolitan University)</p> <p>フラッグ船を備えた船舶の離着性能に関する実験的研究 ○奥田隆輔, 安川宏紀, 山下智大, 平田法隆, 松秋彦</p> <p>短距離小型旅客船の無人運転実証実験のリスク解析 - 無人運転プロジェクトMEGURI2040 ○石村豊以子*, 高野将, 笛木雄大, 塩町恵, 伊藤孝博</p> <p>MEGURI2040 スマートフェリーの開発 ○森友英</p>	<p>OS4 造船・海運におけるデジタルトランスフォーメーション(DX) Digital Transformation of Shipbuilding and Maritime Transformation オーガナイザー：篠田岳忠* (九州大学)、榎方和夫 (東京大学)、濱田邦裕 (広島大学) Takeshi Shinoda (Kyushu University), Kazuo Hiekata (The University of Tokyo), Kunihiro Hamada (Hiroshima University)</p> <p>船舶静荷荷重を活用した海運予測システムの構築とその応用に関する研究 ○和田祐次郎, 平山大貴, 濱田邦裕, 五十嵐祐介, 澤田大介, 船島隆博</p>	<p>OS10 材料・構造解析 I: Material Structural Analysis I 船体構造解析を用いた接合部Sway運動の等価付加質量係数に関する一考察 ○松井 貞典*</p> <p>設計規則法を用いた船体の脆性強度評価に関する一考察 ○松井 貞典*</p>	<p>OS13 自然・海洋エネルギー I: Natural energy, Ocean renewable energy 管内流を有する弾性管の振動に関する研究 - その1 自由振動計測実験 ○久松健弥*, 山口健世, 宇都宮智昭</p>
10:00	<p>OS5 自動着桟技術とその応用 低遅延ネットワーク制御によるトラッキング制御部分からの変動 ○関十也*, 脇田康希, 青木佑介, 秋本洋平, 牧敦生</p>	<p>OS6 自動着桟に関する技術・評価・実証 自動着桟操縦のための最適制御計画の策定 - 逆強化学習による熟練船長の模倣 ○榎田岳史, 橋本博公, 吉岡賢</p> <p>自動着桟船のリスク解析手順の開発 ○松井智洋*, 伊藤孝博, 塩町恵, 河島崇子, 工藤剛一, 石村豊以子, 三宅崇宏</p> <p>無人運転船の実現に向けた自律操縦システムの開発 - 航路保持制御と変速実験の報告 - ○山本 晋太郎, 五百木 隆行, 鈴木 一朗</p> <p>無人運転船の実現に向けた航路保持システムの開発 ○鈴木一朗, 三好晋太郎</p>	<p>OS4 造船・海運におけるデジタルトランスフォーメーション(DX) 船体建造工程モデリングとプロセスシミュレーションを用いた生産計画立案手法の最適化 ○大久保友祐, 溝行泰寿</p> <p>TOC思考プロセスによる日本の造船・産業界に潜む対立構造の可視化に関する研究 ○土井裕文*, 篠田岳忠, 橋本州文, 陸田秀英</p> <p>TOC思考プロセスを活用した企業継続のための金繰りに関する研究 ○土井裕文*, 篠田岳忠</p> <p>海軍におけるDX推進支援のアプローチの提案 ○榎方和夫</p> <p>造船におけるDX推進を模したSCMと作業工程情報の取得に関する研究 ○篠田岳忠*, 福田優作, 田中太氏, 榎井和之</p> <p>建造シミュレーションによる造船組の小組工程管理化の生産性評価に関する研究 ○篠田岳忠*, 土田裕愛, 田中太氏, 藤澤俊介</p>	<p>OS11 材料・構造解析 II: Material Structural Analysis II NREL SMW 浮体式洋上風車モデルを用いた係留機構摩耗量の検討 ○黒川 良樹*, 武内 宗晃</p> <p>積材した預備船体構造の崩壊挙動 - 積材した開口部リボックスガーダを用いた実験および有限要素解析による検討 ○小森山祐輔*, 田中義昭, 安藤孝弘, 橋爪寛, 辰巳 晃, 藤久保昌彦</p> <p>ひずみ計測データと波浪観測データを統合した船体応答の信頼性の予測 ○辰巳晃*, 藤田徳夫, 飯島一博, 藤久保昌彦</p>	<p>OS13 自然・海洋エネルギー I: Natural energy, Ocean renewable energy 管内流を有する弾性管の振動に関する研究 - その2 理論的検討 ○山口健世*, 久松健弥*, 宇都宮智昭</p> <p>半潜式型船体を用いた浮体式洋上風車設置箇所の安全性の検討 ○久松健弥*, 河野野也, 宇都宮智昭, 佐藤郁</p>
11:00	<p>OS5 自動着桟技術とその応用 操縦システムの実装と評価を兼ねたデジタルツイン環境の実現 (第2報) - 実験のためのシステム実装を可能とする操縦システム評価用シミュレータの開発 - ○和田宗晃*, 牧敦生</p> <p>自動着桟のための点群地図作成と自己位置推定 ○澤田涼平, 平田直也</p> <p>自律着桟船の実現に向けた操縦システムの開発 - モデルベース制御を利用したアプローチ制御 - ○五百木隆行, 三好晋太郎</p> <p>無人運転船の実現に向けた自動着桟システムの開発 - 1輪1舵, パワースタース1基の自動着桟制御 - ○羽生一成, 三好晋太郎</p>	<p>OS6 自動着桟に関する技術・評価・実証 無人運転船の実現に向けた自動着桟システムの開発 - 1輪1舵, パワースタース1基の自動着桟制御 - ○羽生一成, 三好晋太郎</p>	<p>OS4 造船・海運におけるデジタルトランスフォーメーション(DX) 造船シミュレーションによる造船組の小組工程管理化の生産性評価に関する研究 ○篠田岳忠*, 土田裕愛, 田中太氏, 藤澤俊介</p>	<p>OS11 材料・構造解析 II: Material Structural Analysis II グループサイズ別キャリアの実船応力計測に基づく建造後波変位に関する研究 ○内田直隆, 陳謙, 岡田哲男, 川村賢二, 溝行泰寿, 吉田智英</p>	<p>OS13 自然・海洋エネルギー I: Natural energy, Ocean renewable energy 船尾(ラスト)積みスパー型浮体のアンダーピング挙動に関する実験と解析 ○真藤太朗*, 宇都宮智昭, 佐藤郁</p>
12:00	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>	<p>昼休み 12:00~13:00</p>
27日	第1会場 Room 1	第2会場 Room 2	第3会場 Room 3	第4会場 Room 4	第5会場 Room 5
13:00	<p>OS5 海事DXに向けた船体構造デジタルツインの研究開発 R&D of Digital Twin for Ship Structures towards Maritime DX オーガナイザー：藤久保昌彦 (大阪大学) Masahiko Fujikubo (Osaka University)</p> <p>船体構造デジタルツインの開発プロジェクト成果の概要 ○藤久保昌彦</p> <p>船体構造デジタルツイン構築のためのデータ同化技術 ○岡 正義*</p> <p>バルクキャリア弾性変型を用いた水櫃試験による船体構造デジタルツインのデータ同化手法の検証 ○室谷英典, 三上航平, 小森山祐輔, 陳謙, 三宅雄彦, 辰巳 晃, 葉田真子, 岡田哲男, 飯島一博, 村山英品, 岡正義</p> <p>デジタルツインシステムプラットフォームSASの開発と水櫃試験におけるシステム検証 ○三上航平, 小林真輝人, 宮下知也, 小森山祐輔, 馬場 辰巳, 藤久保, 見良津隆, 平川真一, 溝行泰寿, 村山 英品</p>	<p>OS7 海運ゼロエミッション達成への道と海事産業のあり方 Future Direction of Zero Emission from Shipping and Maritime Industry オーガナイザー：村山英品 (東京大学)、和中 真之介 (海上技術安全研究所)、榎方和夫 (東京大学) Hideaki Murayama (The University of Tokyo), Shinnosuke Wanaka (National Maritime Research Institute), Kazuo Hiekata (The University of Tokyo)</p> <p>国際海運の脱炭素に向けた政策決定支援シミュレーション ○野々村一歩, 榎方和夫, 吉田幸基</p> <p>国際海運ゼロエミッション化に向けた環境・経済シミュレーションの開発 ○和中 真之介, 堀内 隆太郎, 藤田 尚毅, 榎方 和夫, 大和 拓幸</p> <p>海事産業におけるSDG達成のためのSDモデルの開発 ○相田祐次郎, 山行祐, 濱田邦裕, 和中真之介, 川北千春</p>	<p>OS6 運動性能 II: Motion and Performance II 横移船体動に作用する流体力特性の放物型を用いた分析 - 第2報: 洗水影響の主要目比依存性について - ○北地歩浩, 西尾 茂, 高松賢一, 勝井辰博</p> <p>仮床式洗水域で計測される主船体流体力に関する研究 - 進路角の設置による計測精度改善の可能性 - ○八谷洋輔, 佐野野昭, 奥田隆輔, 中島卓司, 吉川孝孝, 安川宏紀</p> <p>船体剛性減衰力バリエーション成分の自由表面影響 - 池田による歪力成分非定常法の改良 - ○吉田尚史, 片山, 山本裕介</p>	<p>OS12 材料・構造解析 III: Material Structural Analysis III VTAIによる排煙フードへのD4M4E分析の適用 ○篠田岳忠*, 瓜生 浩二</p> <p>次世代船用燃料と核エネルギー ○一色 浩*</p>	<p>OS13 自然・海洋エネルギー II: Natural energy, Ocean renewable energy II 実験風を考慮したMBDynによる浮体式洋上風車の設計ツールの開発 ○宇都宮 智昭*, 荒木持乃</p> <p>スパー型洋上風力発電浮体の立て起しに関する波浪中での時間領域大振幅シミュレーション ○柏木 正, 高島 新一郎, 小濱 耕二, 西村 真知, 保木本 智史, 森屋 陽一, 西野 一雅, 十川 晴弘</p>
14:00	<p>OS5 海事DXに向けた船体構造デジタルツインの研究開発 船体構造モニタリング技術と1/10自航模型船による実海域試験 ○村山 英品, 藤 公博, 若原 正人, 生井 貴宏, 森 孝之, 葉田 直一</p> <p>グループサイズばら積み貨物船の静水・波浪中応答評価 ○平川真一, 吉田智英, 岡田哲男, 辰巳 晃, 内田直隆, 陳謙, 関記明, 河野貴典</p> <p>8, 600TEUコンテナ船の短期・長期予測 ○大沢直樹, 辰巳 晃, 武内 宗晃</p> <p>船体構造デジタルツインの社会実装シナリオ実現に向けた検討 ○濱田邦裕, 和中真之介, 溝行泰寿</p>	<p>OS7 海運ゼロエミッション達成への道と海事産業のあり方 紙質複合板大型型によるGHG削減への取り組み ○川北千春, 一ノ瀬謙雄, 深澤洋平, 金井健, 新藤明司</p>	<p>OS6 運動性能 II: Motion and Performance II 船体運動時系列と波スペクトルを用いた船体運動モデルの同定 ○高岡英典, 花木真明, 青浦英彦</p>	<p>OS12 材料・構造解析 III: Material Structural Analysis III GCOM-Cデータを使った2021年福徳岡ノ場火山山由山軽石の潮流経路推定 ○作野裕司, 谷口直和</p>	<p>OS13 自然・海洋エネルギー II: Natural energy, Ocean renewable energy II 実海域実証試験における潮流流ポッドの応力計測と評価 ○百々 泰*, 岡田 哲男, 長屋 茂樹, 石黒 泰大</p>
15:00	<p>OS5 海事DXに向けた船体構造デジタルツインの研究開発 船体構造モニタリング技術と1/10自航模型船による実海域試験 ○村山 英品, 藤 公博, 若原 正人, 生井 貴宏, 森 孝之, 葉田 直一</p> <p>グループサイズばら積み貨物船の静水・波浪中応答評価 ○平川真一, 吉田智英, 岡田哲男, 辰巳 晃, 内田直隆, 陳謙, 関記明, 河野貴典</p> <p>8, 600TEUコンテナ船の短期・長期予測 ○大沢直樹, 辰巳 晃, 武内 宗晃</p> <p>船体構造デジタルツインの社会実装シナリオ実現に向けた検討 ○濱田邦裕, 和中真之介, 溝行泰寿</p>	<p>OS7 海運ゼロエミッション達成への道と海事産業のあり方 紙質複合板大型型によるGHG削減への取り組み ○川北千春, 一ノ瀬謙雄, 深澤洋平, 金井健, 新藤明司</p>	<p>OS6 運動性能 II: Motion and Performance II Consideration of the difference in Oscillation Mechanism between Ship Parametric Roll and a Swing ○Masahiro Sakai, Atsuo Maki</p> <p>液化ガス燃料タンク内のスロッシング現象とその抑制技術に関する研究 ○榎木 真汰, 陸田 秀英, 金平 大河, 中島 卓司, 藤原 悠一, 米茂 一平, 末 有珍</p> <p>高波中における四脚型自動航行船のアーム部材に生じる荷重 ○谷口貴博, 田岡瑞久, 坪野浩二, 橋本 龍</p> <p>自由航行記録データを用いた操縦運動学モデルのバリエーション推定 ○寺田大介*</p>	<p>OS12 材料・構造解析 III: Material Structural Analysis III Wake Prediction of Tidal Current Turbines Using Machine Learning ○Mohamed M Kamra*, Changhong Hu, Seiya Watanabe</p> <p>気流二相流CFDを用いた空室付浮体モデルの開発 ○菅原祐太郎*, 堀田 弘弘</p>	

: 講演者 (氏名の前の印)、*: オンライン参加 (氏名の後の印)、赤字: 若手優秀講演賞審査対象